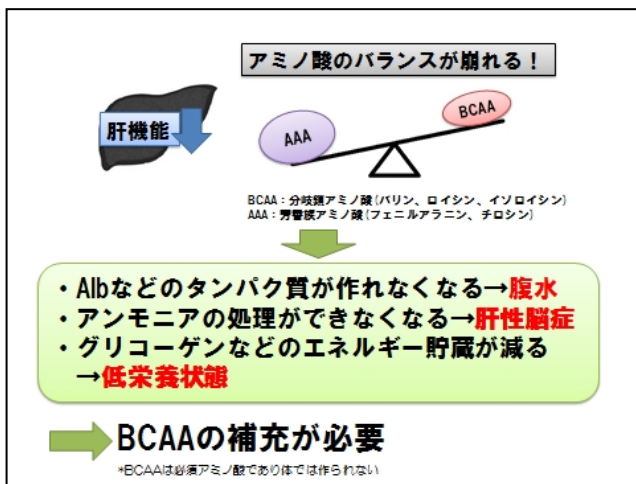


## 演題 2、「肝疾患とクスリ」要旨

肝臓の働きには大きく分けて3つあります。①消化液である胆汁を作り食べ物の消化を助ける。②食べ物を栄養素として体が吸収できるように変化させ、それらを蓄える働き。③からだにとって毒となるものを中和する働きです。ウイルスや薬剤が原因で発症する肝炎や脂肪肝、肝硬変、さらには肝臓癌により肝機能が低下した状態ではこれら3つの働きが当然悪くなり、それによってさまざまな症状がでます。例えば胆汁うっ滞による黄疸、血中アンモニアの上昇による肝性脳症（羽ばたき振せんや昏睡）などがあります。病態が急性期の場合は安静にすることで改善することもあります。慢性化してしまうと薬に頼らざるを得ない場合がほとんどです。主に使用される薬には肝底護療法としてウルソデオキシコールやグリチルリチン製剤、高アンモニア血症を改善するカナマイシンやラクツロース、血中のアルブミンを上昇させるBCAA製剤、適した栄養状態の改善を目的とし症状を改善させるアミノ酸製剤などがあります。しかし、薬の数が多く、飲みにくい、まずいなど苦痛を感じている患者も少なくありません。現在ではさまざまな味のフレーバーをつけたり、ゼリー製剤が販売されたりとあらゆる工夫がされていますので、興味のある方は主治医または薬剤師に聞いてみてください。また、最近では慢性肝疾患による血小板低下を改善するルストロンボバグや搔痒感を改善するナルフラフィンなど新たな薬も開発されているため、昔はやわらげることが不可能であった患者の苦痛を緩和させることが可能となりました。



**バリン・ロイシン・イソロイシン (BCAA) 顆粒**

ヘバアクト®配合顆粒  
4.5g

リーバクト®配合顆粒  
4.15g

**食事摂取量が十分にもかかわらず肝硬変の進展に伴い減少するBCAAを補い、フィッシャー比を是正し低アルブミン血症を改善する。**

粉菓は飲みづらいわ。

**2013年 第3回改良 (剤形追加)**

製品コンセプトはー

- 顆粒剤が苦手でも継続服用できるように
- できるだけコンパクトに
- お好みの専用フレーバーを用意

アミノレバンEN®50mg/包

【用法・用量】  
1日2~3包を2~3回に分けて内服

低蛋白食  
1500kcal  
(蛋白量 約40g)

+

アミノレバンEN  
1日3回

=

2130kcal  
(蛋白量 約80g)

	アミノレバンEN 50g/1包
BCAA (g)	6.1
AAA (g)	0.21
蛋白質 (g)	13.5
糖質 (g)	31.1
脂質 (g)	3.5
総エネルギー (kcal)	210

\*その他ミネラルやビタミンも含有

- ① 栄養状態の改善
- ② 肝性脳症症状の改善・再発の予防

一方で薬によって肝臓の機能が低下してしまう可能性があります。その場合はほとんどの場合は薬を中止すれば改善します。解熱鎮痛剤として市販薬の中の成分としてもよく含まれているアセトアミノフェンは副作用として肝機能障害があるといわれていますが、決められた用法・用量を守って服用すれば安心です。